

平成22年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

1. 共同利用種目 (該当種目にチェック)

- 特定共同研究(A) 特定共同研究(B) 特定共同研究(C) 一般共同研究
 地震・火山噴火予知研究 施設・実験装置・観測機器等の利用
 データ・資料等の利用 研究集会

2. 課題番号または共同利用コード 2011-C-01

3. プロジェクト名、研究課題、集会名、または利用施設・装置・機器・データ等の名称

和文：防災フォーラム英文：BOSAI Forum4. 研究代表者所属・氏名 地震研究所・吉田 真吾(地震研究所担当教員名) 同上

5. 利用者・参加者の詳細 (研究代表者を含む。必要に応じ行を追加すること)

氏名	所属・職名	利用・参加内容または 施設,装置,機器,データ	利用・参加期間	日 数	旅費 支給

6. 研究内容 (コンマ区切りで3つ以上のキーワードおよび400字程度の成果概要を記入)

キーワード:

この共同研究は、東大地震研究所・京大防災研究所・防災科学技術研究所の3者の合意の下に設立した防災研究フォーラムにおいて、以下の事業を、全国共同利用の枠組みで実施するものである。

(1) 国内外の地震・火山・津波等の災害が発生した場合、現地へ専門家を先遣隊として派遣し、現地との折衝を迅速におこない、後続の防災研究チーム本隊に必要な情報提供・環境整備にあたる。

(2) 専門家のみならず、自治体等防災担当者を交えた防災研究についてのシンポジウムを開催する。シンポジウムの開催は、東大地震研究所・京大防災研究所・防災科学技術研究所の輪番で行う。

今年度は、自然災害の発生によって緊急に開始すべき研究もなく、また、当所がシンポジウム開催の当番にもあたっていなかったため、シンポジウムの開催も行わなかった。そのため、実質上、この共同利用は実施していない。経費は全額次年度へ繰り越した。